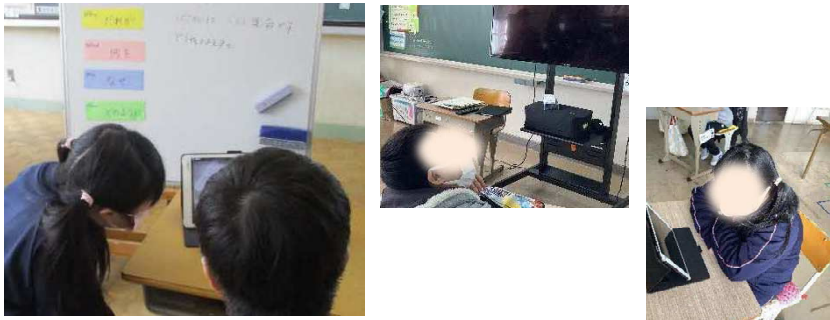


## 教材・支援機器活用実践事例【ICT】

## 伝わりやすい話し方を意識するための ICT 活用 「タブレット端末のカメラ機能とビデオ会議アプリの活用」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校 中学部 1・2年（重複学級）
	障がい名等	病弱
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早口で話してしまったり、声が小さかったりするなど、「話すこと」についての課題がある。</li> <li>・発音が不明瞭なこともあり、話す内容が相手に正しく伝わらないことがある。</li> </ul>
授業について  (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	国語
	単元(題材)名	単元名「電話を使って伝えよう」
	単元(題材)の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発声や発音に気を付けたり、声の大きさを調節したりして相手に伝わりやすい話し方を身に付ける。</li> </ul>
教材・教具支援機器について	教材・教具 支援機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の話し方をタブレットで撮影した動画で確認する。</li> <li>・Google Meet で繋ぎ、リモートで会話をする。</li> </ul> 
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の話す姿をタブレットのカメラで撮影し、話す速度や声の大きさ等の改善点を自ら気づくことができるようにする。</li> <li>○離れた教室にいる友達と Google Meet で繋いで話すことで、相手への伝わり方をより意識することができるようにする。</li> </ul> <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画撮影と確認をその場ですぐに行い、学習したことを即時的に振り返る。学級全体で確認したい事項については iPad を大型モニターに接続して動画を見る。</li> <li>・リモートで友達と話す際には、初めはカメラをオンにして行い、慣れてきたらカメラをオフにし音声のみで相手に伝えるようにする。</li> </ul>
	材料・作成方法等	タブレット端末、アプリ (Google Meet)、TVモニター
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・撮影した動画を見ながら、「ゆっくり話すといいね」「最後の方がよく聞こえなかったよ (語尾が聞き取りにくい)」等、自ら改善点に気づき、伝え合うことができた。</li> <li>・リモートでの会話では、近い距離で直接会話をするよりも自分の話し方をより意識できた。</li> </ul>